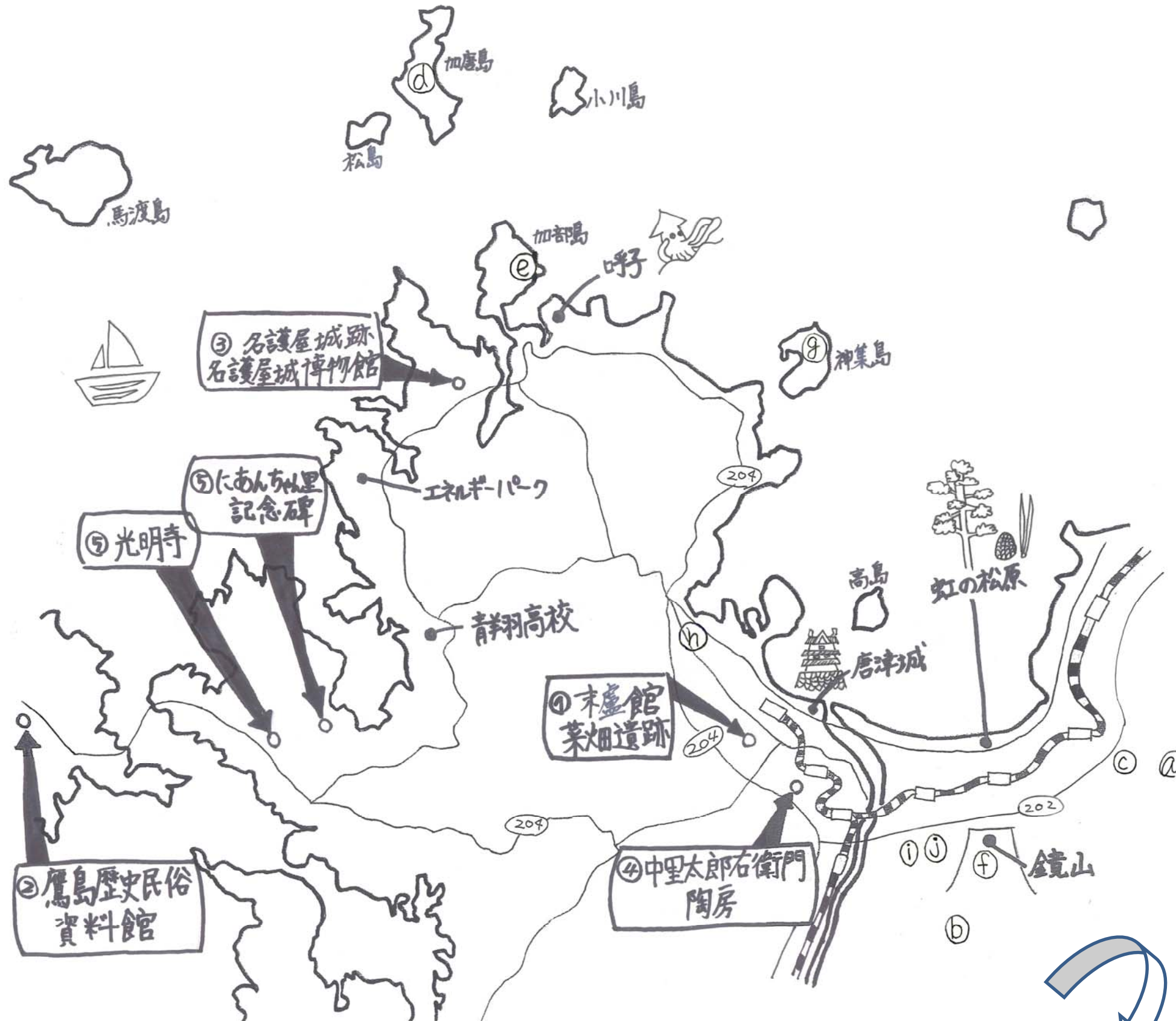


日韓にまつわる歴史マップ

唐津青翔高生が訪ねました！「日韓交流史」の授業を学ぶ7人が、この地域の日韓の歴史についてご紹介します。
ご紹介する地域は唐津市北部と鷹島(長崎県松浦市)です。



<古代>

- 玉島神社 →㉓
じんぐうこうごう
神功皇后が、鮎を釣りあげ戦勝を占ったといわれる地です。
- 菜畑遺跡 …裏面①「末盧館・菜畑遺跡」へ
- 葉山尻支石墓群 (はやまじりしせきぼぐん) →㉔
朝鮮半島で多く見られる支石墓があります。
- 谷口古墳 (たにぐちこふん) →㉕
4世紀代の古墳。横口部を持った石室で、その当時の朝鮮半島の影響が見られます。
- 加唐島 (かからじま) →㉖
くだら
ぶねいおう
百濟25代王武寧王の生誕の地としても有名です。
- 田島神社 →㉗
玄界灘を渡る人々が古くから信仰した神社です。
- 鏡山 →㉘
まつらさよひめ
松浦佐用姫の悲恋物語の舞台としても有名です。
- 神集島 (かしまじま) →㉙
けんしらぎし
新羅に向かう遣新羅使の船団が停泊しました。

<中世>

- 鷹島 …裏面②「松浦市立鷹島歴史民俗資料館・鷹島埋蔵文化財センター」へ
- 佐志 →㉚
佐志氏に代表される松浦党の武士団は海を越えて活動しました。
- 鏡神社 →㉛
1391年に奉納された楊柳観音像(国指定重要文化財)が伝わっています。
ようりゅうかんのんぞう
- 恵日寺 →㉜
へんじつじ
飛天の菩薩像(ほてんぼさつぞう)が美しい朝鮮銅鐘があります。1026年に造られたもので、国重要文化財に指定されています。

<近世>

- 名護屋城跡・陣跡 …裏面③「名護屋城跡・佐賀県立名護屋城博物館」へ
- 唐津焼 …裏面④「中里太郎右衛門陶房」へ

<近代>

- 大鶴炭鉱跡 …裏面⑤「光明寺・にあんちゃんの里記念碑」へ

裏面へGO!

① 末盧館・菜畑遺跡

末盧館は、菜畑遺跡の上に建つ弥生時代をテーマとした歴史資料館です。菜畑遺跡は日本で最も早い時期の水田の跡が見つかった遺跡です。『魏志倭人伝』で邪馬台国に行く途中に登場する「末盧国」が現在の唐津周辺にあると考えられているから、末盧館という名称がつけられました。

資料館は高床倉庫をイメージしたもので、館内では炭化米や石包丁・鋏・水田跡・豚の骨など貴重な遺物や資料が展示してあります。遺物からは、家畜として豚の飼育をしていたことも確認されており、菜畑の地は文字どおり「日本農業の原点」であることが証明されました。また、当時の生活の様子を再現した模型などがあり、豚の飼育の様子や祭りの様子などが再現してあります。

敷地内には、「出あいふれあいの広場」があり、日本稲作発祥祭として春に田植え祭、秋に収穫祭を行います。復元された水田では、古代米の栽培実験も行われています。



高床倉庫風の資料館

- 住所 唐津市菜畑3359番地2
- TEL 0955-73-3673
- 開館時間 9:00~17:00
- 入館料 大人 1人 200円
小人 1人 100円 (4歳~14歳)
- 休館日 月曜日 (祝日が月曜の場合は火曜日)
年末年始 (12月29日~1月3日)

④ 中里太郎右衛門陶房

文禄・慶長の役の時に海を渡った武将たちは日本に帰る際に多くの陶工たちを連れ帰ったと言われており、その時から始まった焼物が九州各地に今も受け継がれています。その中でも、特に唐津焼は茶道具として高い評価を得ています。

この唐津焼の伝統を古くから代々受け継いでいるのが14代中里太郎右衛門さんです。ギャラリーでは多数の作品が展示されています。作品には、様々な大きさや形、色があり、作品を見ていると400年に及ぶ歴史のロマンを感じます。漆黒の黒唐津、白と黒の釉薬の調和が生み出す朝鮮唐津、白地に浮かび上がる斑唐津など唐津焼の技術の粋が集められた作品を楽しめます。

近くには、江戸時代に作られた国史跡「御茶盃窯」が当時の姿のまま残っています。

唐津焼の美の世界をお楽しみ下さい。

- 住所 佐賀県唐津市町田3丁目6番29号
- 営業時間 9:00~17:30
- TEL 0955-72-8171
- 定休日 年末年始 (12月30日~1月4日)



ギャラリーの様子

③ 名護屋城跡・佐賀県立名護屋城博物館

名護屋城は、16世紀末に豊臣秀吉が朝鮮国を攻めた「文禄・慶長の役」の拠点として築かれたお城です。広さは17万平方メートルもあり、当時としては大坂城に次ぐ規模のお城でした。発掘調査では金箔瓦も見つかっており、豪壮な城だったことがわかります。城自体は、17世紀前半に壊されましたが、1955年に国の特別史跡に指定され、現在でも発掘調査と整備事業が行われています。名護屋城跡では、当時のまま残る石垣の様子を見学する事が出来ますので、ぜひご覧ください。

名護屋城博物館は、日本列島と朝鮮半島とのつながりをテーマにした展示が行われています。名護屋城に関しても、出土した瓦や古銭、茶道具などのほかに、当時の姿を描いた「肥前名護屋城図屏風」や大名の陣屋配置図、「安宅船」「亀船(亀甲船)」の復元模型なども展示されています。また、予約すれば学芸員さんから詳しい説明を聞くこともできるのでおすすめです。

- 住所 佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931-3
- TEL 0955-82-4905
- 開館時間 9:00~17:00
- 入館無料 (企画展期間中は有料)
- 休館日 月曜日 (祝日の場合は翌日)、12月29日~31日



名護屋博物館 展示室

② 松浦市立鷹島歴史民俗資料館・鷹島埋蔵文化財センター

鷹島は、鎌倉時代に元・高麗軍が2度にわたって攻め寄せた「元寇」の舞台となった場所です。

とくに弘安の役(1281年)に際して、大暴風雨がおこりたくさんの元の軍船がこの島の付近で沈没したとみられています。2012年には、水中考古学の調査によって沈没した元の軍船の一部が海底で見つかり、大きな話題になっています。

これまでの調査では、軍船のいかりの他、矢束やてつはう、剣など武器、すずりや石臼などの生活道具が多数引き上げられており、資料館で見ることができます。

隣接する鷹島埋蔵文化財センターは、海から引き上げられた遺物の脱塩や保存処理、調査を行う施設で、その様子も見学することができます。海底から引き上げられたいかりの大きさは2.74mですが、当時は7.3mもあったと推定されています。



施設の外観

元寇に関する貴重な資料を間近で見ることができますので、ぜひご覧になってください。

- 住所 長崎県松浦市鷹島町神崎免151番地
- TEL 0955-48-2744
- 開館時間 9:00~17:00
- 入館料 大人300円 小中高生140円
- 休館日 月曜日、12月29日~1月3日

⑤ 光明寺・にあんちゃんの里記念碑

光明寺には、「大鶴炭鉱犠牲者慰霊碑」があります。これは、太平洋戦争中朝鮮半島からの強制連行などを理由として大鶴炭鉱で働き、事故や病気で亡くなった51人の供養のために昭和33年に建立されたものです。本名、戒名、年齢の記録が残り、一番若い人で2歳の子供の名前もあります。

昭和28年、この大鶴炭鉱を舞台とした少女の日記「にあんちゃん」が世に出ると、極貧生活ながら家族の絆を大切に生きる兄弟4人の姿が共感を呼び、たちまちベストセラーとなりました。

現在、大鶴炭鉱跡にはほとんど何も残っていませんが、わずかに坑道の入口が残り、近くには「にあんちゃんの里記念碑」が建てられています。

どうぞ、一度足を運んでみてください。

[光明寺]

- 住所 佐賀県唐津市肥前町入野丙463番地
- TEL 0955-54-0012

[にあんちゃんの里記念碑]

- 住所 佐賀県唐津市肥前町大鶴



大鶴炭鉱犠牲者慰霊碑

大鶴炭鉱の第二坑道入口跡